

## 不織布・対応接着剤 壁研が4月30日施行テスト 下地2種、接着剤7種を研究

壁装研究会は「施工保証提案品壁紙・同接着剤」の施工テストを、4月30日午後1時30分より、サンゲツ東京店の物流倉庫4階会議室で行った。これは平成24年10月以来連続と続けられている研究・施工実験で、25年10月からは、日本壁装協会が採り上げた「不織布壁紙の研究」と趣旨が一致しているとして、対象壁紙の種類を不織布壁紙にしぼり、同会と共同研究の形で進められてきている。今回は、不織布壁紙の施工に適する「接着剤のテスト」が主眼で、会員企業から提案された「試作・提案品接着剤」と、「従来から使用されている接着剤」の後記の各種接着剤が試験対象に採用された。このため、下地基材の石膏ボードも新しく張替え、その無地面と、シーラーを塗布した面との2通りの基材面が用意された。そこに、「不織布裏打塩ビ壁紙」と「不織布ダイレクト壁紙」の2種類を試験張りすることとし、次に挙げるように合計20種類の実験が用意され、実施された。

### 【試験の概要】

#### 壁紙

- ① 不織布裏打塩ビ壁紙
- ② 不織布ダイレクトプリント壁紙

#### 下地

- ① 石膏ボード無地面
- ② 石膏ボードシーラー塗布面

#### 接着剤

- ① ヘンケルジャパンMetylan Spezia
- ② ヤヨイ化学2N(ニュートン)タイプ
- ③ ヤヨイ化学4N(ニュートン)タイプ
- ④ 矢沢化学MCでん粉
- ⑤ 極東産機コナダインF
- ⑥ ヘンケルジャパンMetylan Direct
- ⑦ 矢沢化学向こう糊用

#### 塗布方法

前記接着剤の①～⑤は糊付け機を使用、⑥⑦は向こう糊。

試験張り実験には、前記20種類の実験に対して、それぞれに、「糊の作りやすさ」、「糊付けのしやすさ」、「施工時のずらし」、「施工時のあおり」、「施工時のタック感」、「糊の拭き取り」の5項目の評価が記入できる記録用紙も用意され、実験した人、観察した人などがそれぞれ評価を記入していた。

こうして張られた20種類の施工品は、約1カ月後に剥がし実験を行い、その状態についても「評価・記録」され、実験結果がまとめられることになっている。